



竹原 亜生

質問 2

友愛の森再整備による
財政悪化は

町の負担は増える
経費削減に努める

再整備後の収支見通しは。

施設使用料や建設費が決まっ
ておらず、正確な数字は言え
ない。

町の財政悪化は。

町の負担は増加する。事業内
容、事業費の精査、効率的な
維持管理により経費削減に努
める。

友愛の森が破綻したら、だれ
が責任を取るのか。

町が財政負担をしており、そ
の責任は町が取る。

入込率を現状より5%上げた
根拠は。

点在している施設を新館一つ
に統合するため、相乗効果、
おもてなしの向上が図れる。

東山道伊王野に比べ、直売所、
レストランの売り上げが少ない。
おいしい食べ物、新鮮な野菜が
あるから客が来る。建物ではな
く中身が重要だ。財政を悪化さ
せる恐れがある新館を作る価値
があるのか。

平成28年度 道の駅 売上比較

	入込数 (万人)	総売上 (億円)	一人当たり消費金額 (円/人)			
			合計	直売所	食堂	他
友愛の森	73	4.7	654	375	92	186
東山道	43	4.5	1,034	708	325	0

食堂：友愛の森（なすとらん）、東山道（水車館+あんず館）

道の駅売上比較

質問 4

緊急通報装置の利用者増加策は

町 積極的な周知と協力者なしの利用検討

要支援の方、生活が不自由な方
への介護予防・日常生活支援総
合事業の課題は。

利用者とのニーズに合わせた多
様なサービスの構築が課題で
ある。サービス実施のために、
担い手の確保、事業の採算性
を考慮する必要がある。

在宅支援体制の整備は。

広域的に医療、介護の関係機
関と連携しながら進める。

緊急通報装置（安心コール）の
利用者が少ない。見守り体制が
十分でない中、一人暮らしの方
が不安に思う「もしもの時」に
対し、安心コールは大きな助け
になる。安心コールを利用しや
すくするため、費用軽減措置の
緩和と協力者がいなくても利用
できるようにする考えは。

高齢者の見守りに効果があり、
積極的に周知を進める。費用
軽減措置の緩和は考えていな
い。安心コールの利用は、異
常時に駆け付けける協力者の設
定が必要だが、協力者がいな
い場合の利用について検討す
る。

非常ボタンで



緊急通報
センター
↓
関係先に連絡

24時間見守り続ける緊急通報装置